

平成29年春の叙勲・褒章受章者

4月29日に叙勲受章者、4月28日に褒章受章者が発表され、以下の会員が榮に浴されました。
心よりお慶び申し上げます。

叙勲受章者の横顔



旭日双光章（弁理士業務功労）

ひろ せ ふみ ひこ
広 瀬 文 彦

学歴・職歴	昭和44年3月 中央大学法学部法律学科 卒業 昭和53年3月 電気通信大学短大電子工学科 卒業 (現在) 広瀬国際特許事務所
弁理士会歴	昭和45年 弁理士登録(7416号) 昭和55年度 国際活動委員会 副委員長 昭和57年度 令規委員会 副委員長 昭和58年度 弁理士会常議員 昭和60年度～昭和61年度 弁理士会常議員 昭和61年度 商標委員会 委員長 平成3年度 AIPPI東京総会協力委員会 副委員長 平成3年度 商標委員会 副委員長 平成5年度 日米実務協議委員会 副委員長 平成7年度 弁理士会理事(副会長) 平成9年度 総務委員会 委員長 平成9年度～平成10年度 弁理士法改正特別委員会 副委員長 平成10年度 検定制度検討委員会 委員長 平成12年度 令規改正特別委員会 副委員長 平成15年度 知的財産制度改革推進会議 委員長 平成21年度 国際活動センター 副センター長 平成25年度～平成26年度 日本弁理士会常議員
公職	平成7年 工業所有権審議会臨時委員 平成8年 工業所有権審議会臨時委員 平成16年 工業所有権審議会臨時委員
懇談会	平成9年 実態調査懇談会 副委員長
賞	平成元年 弁理士制度90周年記念式典特別功労表彰 平成8年 弁理士会特別功労表彰 平成11年 工業所有権制度関係功労者表彰(通商産業大臣表彰) 平成11年 弁理士会特別功労表彰 平成11年 弁理士制度100周年記念式典特別功労者表彰 平成13年 日本弁理士会永年功労表彰

平成 18 年 日本弁理士会感謝状

平成 23 年 日本弁理士会特別功労表彰

平成 27 年 日本弁理士会特別功労表彰

受章に浴して

このたびは、平成 29 年度春の叙勲の榮譽に浴し、大変光榮に存じます。これも、ひとえに日本弁理士会、特許庁並びに、諸先輩の方々のお蔭と深く感謝しております。

また、受章に際しましては、日本弁理士会会長をはじめとしまして、関係団体や多くの皆様から丁寧な祝辞やお花等をいただきまして、まことに有難うございました。

1970 年に弁理士登録をしてから、弁理士一筋で 47 年半が経過しましたが、その間、先輩の諸先生方に色々ご指導いただきまして、ここまで弁理士として業務を遂行することが出来ました。

昭和の時代には、外国から依頼される事件を主に扱っておりましたが、その後の急速な知的財産制度の国際化により、外国のみならず、国内クライアントの外国出願事件も扱うようになり、さらに、国内における代理人制度の規制緩和の流れに押されて、右往左往するようになりました。弁理士を取り巻く環境は、弁理士試験合格当時とは、大きく変化しており、十分な準備と対応が必要と痛感しております。

今後とも、今までの多様な経験を生かして、少しでもお役に立てればと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



旭日双光章 (弁理士業務功労)

ほん じょう たけ お
本 庄 武 男

学歴・職歴

昭和 44 年 慶応義塾大学工学部機械科卒業
昭和 44 年 4 月～昭和 54 年 3 月 村田機械株式会社 勤務
(現在) アートピア特許事務所

弁理士会歴

昭和 53 年 弁理士登録 (8413 号)
昭和 59 年度 近畿地方委員会 副委員長
昭和 61 年度 企画委員会 副委員長
昭和 62 年度～昭和 63 年度 弁理士会常議員
昭和 62 年度～昭和 63 年度 常議員会会計監査準備委員会 副委員長
平成 2 年度～平成 3 年度 特許事務報酬制度委員会 副委員長
平成 4 年度 21 世紀対応第 2 委員会 副委員長
平成 4 年度～平成 5 年度 近畿支部 幹事(副支部長)
平成 8 年度 近畿支部 幹事(副支部長)
平成 8 年度 次年度予算等検討委員会 副委員長
平成 9 年度 弁理士会理事(副会長)
平成 11 年度 事務所名称検討委員会 委員長
平成 12 年度 財務委員会 副委員長
平成 13 年度 日本知的財産仲裁センター支援委員会 副委員長
平成 13 年度～平成 21 年度 中央知的財産研究所 副所長
平成 14 年度 職務発明検討委員会 委員長
平成 15 年度 特許委員会 副委員長
平成 16 年度 近畿支部 幹事(副支部長)
平成 17 年度 近畿支部 幹事 (支部長)
平成 20 年度 日本知的財産仲裁センター センター長
平成 21 年度 ADR 推進機構 委員長
平成 21 年度 コンプライアンス委員会 副委員長
平成 23 年 会長室 室員
平成 26 年度～平成 27 年度 日本弁理士会常議員
平成 27 年度 近畿支部 広報 IT 委員会 副委員長
平成 28 年度 近畿支部 監査役

公職

平成 14 年度 一般財団法人 知的財産研究教育財団 知的財産研究所 職務発明制度
の在り方に関する調査研究 委員
平成 25 年 工業所有権審議会試験委員
平成 26 年 工業所有権審議会試験委員

賞

平成 3 年 弁理士会特別功労表彰
平成 10 年 弁理士会特別功労表彰
平成 11 年 弁理士制度 100 周年記念式典特別功労者表彰
平成 15 年 日本弁理士会特別功労表彰
平成 18 年 日本弁理士会永年功労表彰
平成 18 年 日本弁理士会特別功労表彰
平成 22 年 日本弁理士会特別功労表彰
平成 27 年 日本弁理士会感謝状
平成 28 年 日本弁理士会特別功労表彰

受章に浴して

この度、平成 29 年度春の叙勲中、旭日双光章の榮に浴しましたこと、身に余る光榮に存じます。これも皆様の、御支援、御指導の賜物と深く感謝致しております。

当職が弁理士を志したのは、勤務企業において技術取締役をされておられた上司との出会いが大ききように思います。技術開発業務だけでなく、文化的智力にも富まれた方で、そのような技術面と文化創造面の両面にわたる思考方法に大きい感化を受けました。そんな折、技術と法律の両面に対応する素養を求められる弁理士という職業に興味を持ち、弁理士試験にチャレンジしたことが弁理士への道の発端でありました。

弁理士受験中は、献身的な講師に恵まれ、合格後は、多くの先輩弁理士と沢山の酒を一緒にさせていただく中で沢山の知識経験を教わり仕事に役立てることができました。また本会の理事会・委員会などでも多くの先輩および仲間に恵まれ、有益な議論をさせていただく機会に恵まれました。

このように当職の場合、良き先輩、仲間との出会いに恵まれ、これまで長きにわたり弁理士業に打ち込むことができたように感じます。勿論その裏には当職の健康維持などのために真に献身的につくしてくれた妻の存在が大ききと感じています。

すでに実務能力にも限界を感じるいま、年を重ね叙勲をいただけるものになった当職の経験を振り返り、かかる経験を若い方に伝え、受けたご恩を少しでもお返しできれば幸いと思うこの頃でございます。



旭日双光章 (選挙管理事務功労)

いそ の まさ お
磯 野 政 雄

学歴・職歴

昭和 42 年 日本大学法学部法律学科卒業
昭和 38 年～昭和 47 年 福田勸特許事務所
(現在) 磯野政雄特許事務所

弁理士会歴

昭和 44 年 弁理士登録 (7220 号)
昭和 50 年度 商標委員会委員会 副委員長
昭和 52 年度 商標委員会委員会 副委員長
昭和 53 年度 弁理士会常議員
昭和 55 年度 弁理士会史編纂委員会 副委員長
昭和 57 年度 企画委員会 副委員長
昭和 58 年度 企画委員会 委員長
昭和 58 年度 特許事務報酬委員会 副委員長
昭和 60 年度 弁理士会理事(副会長)
昭和 61 年度～昭和 62 年度 特許制度昂揚普及委員会 副委員長
昭和 61 年度 次年度の会務運営等検討委員会 副委員長
昭和 63 年度 特許制度昂揚普及委員会 委員長
平成 1 年度～平成 2 年度 弁理士会常議員
平成 1 年度 次年度会務運営等検討委員会 委員長
平成 2 年度 常議員会会計監査準備委員会 副委員長
平成 2 年度 常議員会活性化検討委員会 委員長
平成 3 年度 常議員会調整委員会 副委員長
平成 3 年度 意匠委員会 委員長
平成 5 年度 総務委員会 副委員長
平成 7 年度 総務委員会 委員長
平成 11 年度 総務委員会 副委員長
平成 15 年度 財務委員会 副委員長
平成 16 年度～平成 17 年度 財務委員会 委員長
平成 17 年度 予算資料準備委員会 副委員長

公職

平成 4 年～平成 5 年 弁理士審査会委員

賞

平成 11 年 黄綬褒章
平成 8 年 工業所有権制度関係功労者表彰 (通商産業大臣表彰)

【日本弁理士会】

平成 1 年 弁理士制度 90 周年記念式典特別功労
平成 3 年 弁理士会特別功労表彰
平成 6 年 弁理士会感謝状
平成 8 年 工業所有権制度関係功労者表彰 (通商産業大臣表彰)
平成 8 年 弁理士会特別功労表彰
平成 11 年 弁理士会永年功労表彰
平成 11 年 弁理士制度 100 周年記念式典特別功労者表彰
平成 18 年 日本弁理士会特別功労表彰

【選挙関係】

平成 5 年 東京都選挙管理委員会表彰

平成 15 年 全国市区選挙管理委員会表彰

受章に浴して

平成 29 年春に旭日双光章（選挙管理事務功勞）の叙勲に浴し、誠に光榮に存じます。

40 代に小平市議会で選管委員に選出され、1 期 4 年を 6 期務めました。総務省の叙勲名簿には、元弁理士会副会長の経歴が併記されていますので、弁理士業務も評価されているものと日本弁理士会に感謝しております。

選管委員のときには、ある年の市議会議員選挙において最下位当選者と次点者が僅か 0.23 票の差となり、これに不服の次点者が申出た異議を退けた市の決定に対し東京都に裁定を申立て、都選管が当市に出張って複数いる同姓の当選者との按分票や疑問票を一票ずつ再点検しました。結果は変わらず、当市選管の判断に 1 票たりとも間違いないことが証明されたという印象深い経験をしました。

弁理士としては、恩師福田勸先生（元弁理士会会長、藍綬褒章、勲四等瑞宝章、享年 85 歳）の特許事務所に入れて頂き、働きながら大学に通い、卒業後 2 年目に弁理士資格をとることができました。同事務所には 9 年間お世話になりました。

当市には、故平^{ひらくし}櫛田^{でんちゅう}中翁（文化勲章受章者）の彫刻美術館があり、“七十八十ははなたれこぞう…”の書が展示されています。歳だけは、洩垂れ小僧になりましたが、107 歳の生涯まで血気盛んな壮年であったろう翁の足下には遠く及ばず、せめて恩師の歳まで弁理士でいらればと思う心境です。



瑞宝小綬章 (通産行政事務功労)

く どう かん じ
工 藤 莞 司

学歴・職歴

昭和 44 年 中央大学法学部法律学科 卒業
昭和 39 年 特許庁入庁
昭和 48 年 特許庁商標審査官
昭和 62 年 商標審判官
平成 9 年 商標課長
平成 11 年 商標部門代表審判長
平成 12 年 特許庁退官
平成 12 年 創英国際特許法律事務所入所
平成 12 年 東京工業大学工学部非常勤講師
平成 16 年 4 月 東京都立大学法科大学院教授に就任
平成 20 年 3 月 首都大学東京停年退官
平成 21 年～平成 28 年 首都大学東京法科大学院及び中央大学大学院法学研究科
の非常勤講師
(現在) 創英国際特許法律事務所

弁理士会歴

2000 年 弁理士登録 (11669 号)

公職

2001 年 工業所有権審議会臨時委員

賞

2003 年 日本弁理士会感謝状

受章に浴して

この度因らずも春の叙勲受章者に列しました。これも、関係者、特に在庁時代の先輩や同僚、後輩皆様方のお陰と感謝申し上げます。私は、36 年在庁の大半を商標の審査、審判で過ごしたが、前半は併任として様々な業務に携わる機会を得た。登録事務機械化に伴う原簿のコンピュータ調製に関与したのが最初である。総務課審議室に二度併任し、PCT 加入に伴う特許法の改正とサービスマーク登録制度のための商標法の改正作業に従事した。工業所有権制度 100 年史編纂作業も担当し、特許研究誌創刊にも係わった。

後半の思い出は、マドリッド協定議定書加入関連である。加入の前提として、従前指定商品・役務の不備については手続補正命令という曖昧な運用であったが商標法 6 条 1 項の拒絶理由への移行を提案し採用された。また、18 月審査は国内出願にも適用されることになり、国内出願についても、分類チェックが国際段階で終了する国際出願同様、6 条 1 項審査期間は、18 月にカウントしない規定 (商標法施行令 3 条柱書き括弧書き) にして貫った。また、周知・著名商標の保護強化のために商標審査基準の改正を行った。審決は当時の東京高裁で殆ど支持されたが、「パームスプリングスポロクラブ事件」だけは審決が取り消され、庁内で議論の末上告し、私も指定代理人に選任され上告理由を検討した。最高裁は、上告理由を入れて上告人勝訴の判決を下した (最高裁 13.7.6 判決)。

在庁時代は、様々な業務等を経験させて戴いた。私の業務の習得のみならず多方面の方々と交流することが出来た。その一つの表れとして、法科大学院で実務家教員として講義する機会を戴いた。未だ特許事務所に席を置き、研修講師等をしているが、今回の受章は自らの最後の驢にしたい。



瑞宝小綬章 (通産行政事務功労)

たき ざわ とも お
滝 澤 智 夫

学歴・職歴

昭和 40 年 特許庁入庁
昭和 45 年 中央大学法学部卒
昭和 51 年 特許庁審査官
昭和 52 年 総務部総務課制度改正審議室
昭和 56 年 外務省出向 (在スラバヤ総領事館領事)
平成 2 年 審判部審判官
平成 8 年 総務部総務課工業所有権相談所長
平成 12 年 審判部審判長
平成 15 年 審判部第 36 部門長
平成 16 年 特許庁退職
(現在) 滝澤特許商標事務所

弁理士会歴

平成 16 年 弁理士登録 (13301 号)

受章に浴して

この度は、平成 29 年春の叙勲に浴し、身に余る光栄に存じております。

これもひとえに、特許庁在職中にお世話になりました多くの皆様方、また、弁理士として支えて頂きました、日本弁理士会の皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます。

右も左もわからないまま特許庁に入庁し、夜学に通いながら頑張っていた日々が思い出されます。

審査官として任官後は、商標行政に携わってきましたが、その間、日中商標協定締結の裏方として、外務省出向時には、在留邦人の保護を、相談所長時代には、外部からの種々の案件の相談にあたる等、審査・審判業務では味わうことのできない様々な経験をさせて頂きました。

これ等の経験は、審査・審判業務においてはもちろんのこと、現在の弁理士としての業務を行う上で、大きな力となっております。

これからも、商標専門の弁理士としてお役に立てればと思っております。

今後とも、皆様のご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

褒章受章者の横顔



黄綬褒章 (弁理士業務功労)

ひら さき ひこ はる
平 崎 彦 治

学歴・職歴

昭和 45 年 福井大学機械工学科 卒業
昭和 48 年 名古屋工業大学大学院 修了
昭和 48 年～昭和 59 年 大同工業株式会社
平成 28 年～ 裁判所専門委員
(現在) 平崎特許事務所

弁理士会歴

昭和 56 年 弁理士登録 (8716 号)
平成 1 年度 北陸地方委員会 副委員長
平成 4 年度 北陸地方委員会 副委員長
平成 8 年度 北陸委員会 副委員長
平成 10 年度 北陸委員会 委員長
平成 11 年度 北陸部会 部会長
平成 13 年度 北陸部会 副部会長
平成 17 年度 北陸支部 幹事
平成 19 年度 北陸支部 副支部長
平成 22 年度 北陸支部 支部長
平成 23 年度 北陸支部 監査役
平成 24 年度～平成 25 年度 日本弁理士会常議員
平成 24 年度 常議員会第一委員会 委員
平成 28 年度 北陸支部 幹事
平成 29 年度 北陸支部 副支部長

賞

平成 11 年 弁理士会特別功労表彰
平成 21 年 日本弁理士会永年功労表彰
平成 24 年 日本弁理士会特別功労表彰
平成 25 年 産業財産権制度関係功労者表彰 (特許庁長官表彰)
平成 26 年 日本弁理士会特別功労表彰

受章に浴して

この度は、29 年度春の黄綬褒章受章の栄に浴し、身に余る光栄に思います。
「弁理士」という職業を知らなかった時に、特許庁に入った学生時代の友人に勧められて勉強を始め、55 年に「まぐれ」で合格しましたが、エンジニアとして会社勤めをしていた頃に比べて人生は大きく変わりました。もともと機械の設計は好きでしたが、独立して事務所を持たたことはサラリーマン時代には味わえない大きな喜びでした。
もうすぐ 70 才になりますが、弁理士に成っていなかったら、すでに会社は定年になり、今頃何をしているだろうかと思うことが時々あります。
畑仕事でもしているのかと想像しますが、この年に成っても定年なく仕事が出ることは本当にありがたく、嬉しく思います。
そして、このように恵まれた仕事をしている上に、今回の黄綬褒章を頂いたことは人生においてこの上ない喜びと感謝しています。
これから先、どれだけ仕事出来るか分かりませんが、黄綬褒章に恥じることはないように少しでも社会の為に役立つように心掛けたいと改めて思うところです。